

# Solvisto 007

## 2010年8月20日発刊

### 編集内容

#### 中国見聞

# 世界を席巻する中国メーカー

### 生産能力8.2GW、需給逼迫、値上げも主導

### 「多結晶ウエハ15%値上げ、年内一杯は供給タイト」

LDKソーラー／佟興雪総裁兼COO

#### 政策動向

## FIT導入が現実化

インタビュー 増子輝彦 経済産業副大臣  
山本幸三 自由民主党政務調査会副会長

#### 企業動向

## 東アジアPV提携続々

2大PVディーラー、首脳インタビュー  
高島、ウエストホールディングス

## ニュース・アラウンド・ザ・ワールド

Special Interview／ホンダソルテック

### 「自前技術で世界一がホンダ哲学 1年以内に効率13%超へ」数佐明男 社長

企業研究／LDKソーラー

### モジュール生産に名乗り上げた多結晶ウエハ最大手

## 流通フラッシュ

地域フォーカス[九州]  
晴れ模様続く九州地域

etc.



### バックナンバー 好評発売中!



#### Solvisto 002

2009年 市場観測  
金融危機、スペインショックが示唆する  
欧州依存からの脱却

中国見聞  
反攻窺う5大セルメーカー



#### Solvisto 003

特集／スクール・ニューディール  
2400億円の経済効果

群雄割拠の住宅ソーラーシステム  
2000億円市場



#### Solvisto 004

徹底解剖 鳩山ソーラービジョン  
インタビュー

増子輝彦経済産業副大臣／福山哲郎外務副大臣  
中国見聞  
PV内需元年を迎えた大中国



#### Solvisto 005

徹底予測 国内PV市場2010

2009世界PVマーケット  
セル・モジュール／多結晶シリコン／多結晶シリコンウエハ  
単結晶シリコン／モノシラン／特殊炭素



#### Solvisto 006

特集「FIT」導入へ動く!

徹底調査!  
全国都道府県のPV補助政策の実態  
東京都副知事が語る“太陽政策”

データ

**PV系統連系件数50万件突破  
東京電力09年度3万件以上に**

全国ソーラーシステム普及協議会（京都市右京区、会長・長谷川茂セブティーン社長）の調べによると、09年度のPV系統連系件数は、前年比142%増の12万1459件となり、累計連系件数が57万3505件と50万件を突破した。詳細は表の通り。

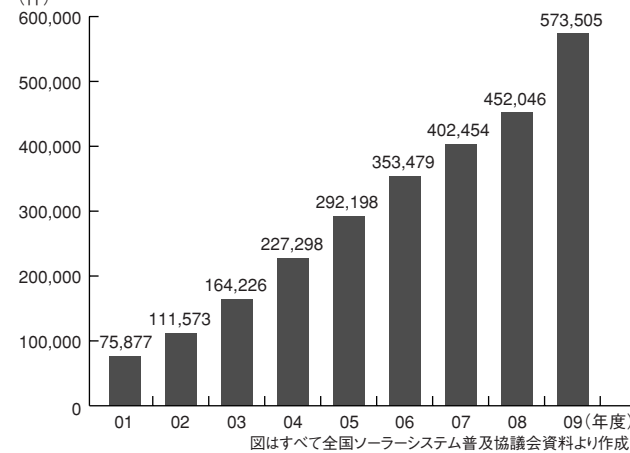
累計数を電力会社別にみると、東京電力が2位の九州電力に5万件以上の差をつけている。それに続くのは中部電力と関西電力だ。08年度までは関西電力が3位、中部電力が4位だったが、09年度に逆転した。

09年度の連系件数をみると、東京電力が最も多く、初めて3万件を超えた。02年以降8年連続1位だ。中部電力も3年連続2位を保っている。

この連系件数はJ-PECが公表する補助金申請件数などと異なり、電力会社と実際にPVを連系した数量である。

なお調査を行っている全国ソーラーシステム普及協議会は02年に正式に設立され、現在、会員企業はエコトップ（和歌山）、佐藤建設工業（東京）、サン・ホームビルダー（佐賀）、スカイテック（東京）、セブティーン（京都）、創建コーポレーション（兵庫）、総合エナジー開発（広島）、未来テクノス（宮城）、E.E.C（愛知）など21社。資源エネルギー庁などへの提言や電力会社への調査を主たる活動とする。

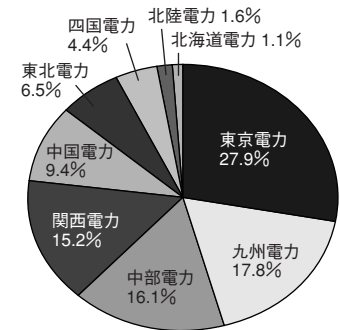
**PV連系件数推移**  
(件)



**09年度PV連系件数ランキング(件)**

順位	会社名	当年連系数	累計数 (丸数字は順位)
1	東京電力	36,234	159,883 ①
2	中部電力	20,057	92,215 ③
3	九州電力	19,685	102,252 ②
4	関西電力	16,000	87,234 ④
5	中国電力	11,939	53,723 ⑤
6	東北電力	8,832	37,220 ⑥
7	四国電力	5,002	25,066 ⑦
8	北海道電力	1,896	6,650 ⑧
9	北陸電力	1,814	9,262 ⑨

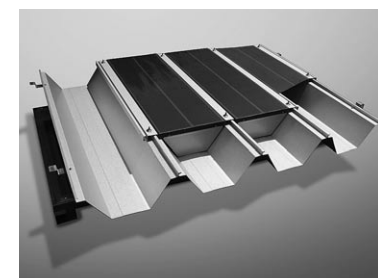
**電力会社別PV累計連系数シェア**



**川ロステール工業  
産業用軽量モジュール、外壁用PV販売開始  
年内に10kWハウス建築**

金属屋根工事業社の川ロステール工業（本社・佐賀県鳥栖市、資本金2億8150万円・川口展弘社長）は産業用モジュール販売及び設置を昨年8月より始め、今年7月から外壁用PVの販売をスタートした。年内にはそれらを用いた約10kWモデルハウスの建設を予定するなど、PV事業を多角的に展開している。

産業用モジュールは富士電機システムズ製のフィルム型アモルファス太陽電池。一般的なガラス基板を用いたモジュールに比べ約1/7の重量とする。軽量な点に加え、従来の取付架台を使用せず、同社製の専用金具で取り付ける点特徴だ。銅板にモジュールを装着し、屋根にビス穴を開けず設置する。



産業用軽量モジュールの設置例

モジュール販売及び屋根施工を自社で行う。これまでに佐賀県の公共施設に1件、約25kWの実績を持つ。同社は1930年に創業、07年頃からPV事業への参入

を模索していた。川口展弘社長は「屋根に重いモノを載せることはよくない。もちろん環境貢献するPVシステムでもだ。そこで超軽量モジュールを用いたシステム販売を開始した」と経緯を述べ、「概算見積もりで800億円に達するなど反響は大きい。産業用モジュールの販売事業は2、3年後に2億円を目指す」と話す。

また、総発電量が約10kWの新築住宅も計画しており、川口社長は「10kWハウスの設計図は完成した。年内にモデルハウスを建築する」と語る。加えて、屋根賃借による発電事業であるPPA事業も検討中だ。

なお同社は今年5月に東京事務所を開設、PV事業に特化する。関東の販売店としてブロードバンドセンター（東京都渋谷区）と提携している。今後、代理店ネットワークを構築し、国外も視野に入れ、販売していく方針だ。

**ベストフレンドソーラー  
LDKソーラー  
日本代理店に**

ベストフレンドソーラー（本社・東京都町田市、寺西裕子社長）は、LDKソーラーの日本代理店として、今後、JET及びJ-PEC認証を取得し、日本市場で拡販する。同社は09年10月に設立された。今年4月にLDKソーラーと代理店契約を交わし、現在モジュールのJET認証を取得中。J-PEC認証も秋口までに取得する予定だ。モジュールは日本仕様の単結晶及び多結晶シリコン型で、既に東京都の推奨機器として登録済み。その他パワーコンディショナや接続箱など周辺機器は選定中だ。自社製の架台を用い、独自の設置方法を施すことにより築10年以上で今までPVが載せられなかった屋根にも対応が可能という。

寺西裕子社長は「世界トップレベルのシリコンメーカーであるLDKソーラーのブランド力を有効活用したい。他メーカーとは違う独自の施工方法を活かし、拡販していく」と語る。



原田義昭会長

「04年に日本のPVメーカーは圧倒的な世界シェアを誇っていたが、08年にはかなり低下していた。これは日本の世界戦略に間違いがあるということだ。日本ではメーカーごとの流通や施工管理で大手企業の寡占体制となっている。これでは市場拡大しない。それを打ち破らないと光は見えない」と述べ、「まずは技術研修制度の標準化だ。一定水準の技術維持のため既存の試験を活用してもいい。



本社(上)、福岡事務所(下)に設置されたPVシステム

なお同協会は昨年9月に設立、今年4月8日に一般社団法人化された。PVシステム施工技能者の育成事業などの活動を行う。会員は地域の工務店や瓦販売店など1230社以上。賛助会員にはサンテックパワーージャパンやカナディアン・ソーラー・ジャパン、スピードテックエナジージャパンなどが名を連ねる。

「国内市場はある程度商流が出来上がっている。そこで我々が主体的に販売するために海外製品を扱うシステムメーカーになった。住宅用を中心に販売していく」と話す。

PC・型枠事業部PV事業部の高井邦博大阪営業所所長は「国内市場はある程度商流が出来上がっている。そこで我々が主体的に販売するために海外製品を扱うシステムメーカーになった。住宅用を中心に販売していく」と話す。

**全国太陽光発電推進協議会  
第1回全国大会開催**



中村常男副会長の音頭で乾杯した

「一番重要なのは仕事を増やすことだ」と挨拶した。来賓として、経済産業省資源エネルギー庁から省エネルギー・新エネルギー部政策課制度審議室の安永崇伸室長、民主党の

**マキテック  
住宅用販売1000棟目標**

コンベヤメーカーのマキテック（本社・名古屋市熱田区、資本金7912万1千円・真木伸一社長）は、09年11月にJ-PEC認証を取得し、住宅用PVシステムの販売を開始した。今年には本格的に拡販し、1000棟を目指す。

システムはカナディアン・ソーラー製モジュール、オムロン製パワーコンディショナ、木谷電器製の接続箱などで構成する。架台は自社製で、塩害対策用メッキを標準装備する点特徴だ。

住宅用はまず名古屋と九州の営業所で販売をスタートした。5カ年計画を立てており、今後取扱店を順次拡充し、自

社営業所など54店舗で販売していく予定だ。店舗型での直接販売を中心とし、自社施工も検討している。同社は08年にPV事業部を立ち上げ、昨年度は北九州市のスクールニューディール案件も含め、産業用で200kW以上の実績を付けた。今年度は昨年度と同規模の200kW程度を目標としている。なお産業用ではカナディアン・ソーラー製モジュールに加え、太陽工業製のガラス建材用シート・薄膜シリコン太陽電池なども扱う。